



寒い日が続いています、新型コロナウイルス感染にも十分気をつけましょう。春から夏にかけての行事をお知らせします。各行事の実施にあたり、新型コロナの感染状況などによっては、中止になる場合があるかも知りません。ホームページなどで確認の上、マスクなど感染対策をしてお待ちしています。今年もバスツアーは予定していません。



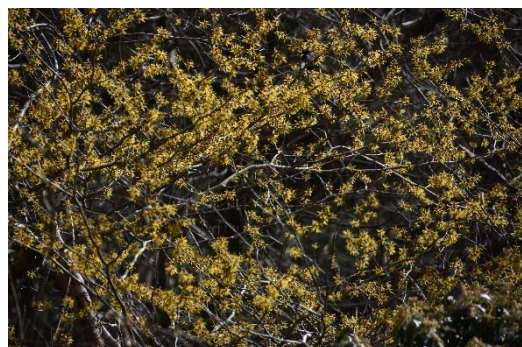
3～7月行事の見どころ



ヤブツバキ

●3月12日(土) 芦屋市の蛇谷でマンサクの花を観察

阪急バスの東おたふく山登山口停留所に集合します。舗装された林道を土樋割まで約2 km歩きます。咲き始めたアセビやコバノミツバツツジ、クロモジなど早春の花を見ながら、ゆっくり観察し楽しみたいと思います。そして、突き当りの土樋割で今日の目的であるマンサクの花を鑑賞しましょう。マンサクは西宮で



は船坂川の川上の滝付近までよく見に行きましたが、今回は比較的歩きやすい蛇谷のコースを設定しました。昼食をとり、付近を散策したあと来た道を戻ります。



左右の写真はマンサク

●4月24日(日) 猪名川河川敷の帰化植物の観察

協会だより11号より再掲載

今回はJR伊丹に集合し、猪名川の河川敷を川下に歩いて、国指定史跡の「田能(たの)遺跡」までを往復し、外国からやってきたこの近辺ではあまり見られない植物を主に観察します。草刈りの後でなければ、いろいろな植物に出会えることでしょう。コースは伊丹市の南東の位置で、田能遺跡資料館は尼崎市になります。



ナヨクサフジ



セイヨウヒキヨモギ



トガリバツメクサ



ヒサウチソウ

ヒサウチソウは猪名川では、昨年見かけた地中海周辺が原産の半寄生の帰化植物で、日本では1982年に名古屋で見つけられたのが最初だそうです。名は植物学者、薬学者の久内清孝氏を記念してつけられました。今回、見られるといいですね。

●5月8日（日）甲山でホタルカズラの花を観賞



約20年ぶりに開花を確認したと協会だより10号で紹介しました。昨年は調査をしていなかったため、今年こそみなさんとホタルカズラを見たいと計画しました。今回、甲山を1周します。北山貯水池横の甲山森林公園観察池で昼食、さらに付近を散策したあと神呪寺で解散します。

ホタルカズラ

●6月5日（日）道場からの湿原でトキソウなどの観察

JR 道場駅に集合します。まずは千刈貯水池方面へ。途中、浄水場の先で、千刈ダムから流れ出ている波豆川を渡り、宝塚市にある丸山湿原へと続く道を歩きます。道の脇はけっこう湿っており、あちこちで小規模な湿地が観察できます。また、林内にはギフチョウの食草であるヒメカンアオイも観察できます。目的の湿原は広く、トキソウやモウセンゴケ、ノハナショウブなどが見られますが、水による浸食が激しく、湿地の変遷も観察してみるといいでしょう。帰りは元来た道に戻ります。

約20年ぶりに開花を確認したと協会だより10号で紹介しました。昨年は調査をしていなかったため、今年こそみなさんとホタルカズラを見たいと計画しました。今回、甲山を1周します。北山貯水池横の甲山森林公園観察池で昼食、さらに付近を散策したあと神呪寺で解散します。



ヒメカンアオイ



トキソウ



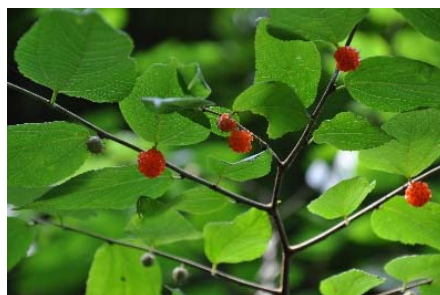
ノハナショウブ

●7月3日（日）武田尾で夏の植物観察

JR 武田尾駅で集合。昨年の秋に続き、今年は夏の武田尾の植物を観察します。コースはほぼ昨年と同じで、赤い橋より上流の宝塚市側と西宮市側です。この時期、コゴメウツギやヤマアジサイなどの花やヒメコウソの果実が観察できるでしょう。貴重種では、RD 兵庫 C ランクのキヨスミギボウシやBランクのヨコグラノキなどを観察します。



コゴメウツギ



ヒメコウソ



キヨスミギボウシ